

# 「ありがとう」と言うことを大切にしながら、農業を魅力ある仕事にしたい

## 10年後を考えて、農業へ転身

高校卒業後の進路を教えてください。

高校卒業後、家の内装に興味を持っていたので、インテリア専門学校で学びました。卒業後、就職活動もしていましたが、専門学校で出会った高島市内の工務店の方に声をかけていただき、就職しました。大工の知識は全く無かったのですが、仕事の中で木の刻み方や道具の使い方などを覚えていきました。

なぜ農業へ転身されたのですか？

21歳で、現在住んでいる今津の空き家で一人暮らしを始め、工務店で仕事を始めて10年が経った頃、地区内で農業をする



采野 哲くんが「一緒に農業をしないか」と声をかけてきました。采野くんは同い年で友人でもありました。ちょうどその頃に体を壊していたこともあって10年後も大工を続けていくのは難しいと感じ、農業経験が無いこと、給料、農業の将来性など、一年間考え、工務店を退社し、2014年にうねの農園で農業をしようと決めました。

## 植物の成長する姿とお客様の声がうれしい

主に生産されている作物を教えてください。

うねの農園では、約17町の水田でお米をつくっています。お米は高島の自然と人に優しい有機栽培や環境こだわり栽培を実践しています。冬には漬物用の赤カブの栽培をしています。采野くんは自分が加わることで家族経営から一歩踏み出して、経営規模の拡大と新しい作物の栽培に挑戦したいと思っていたそうです。実際に今は大豆、大麦、玉ねぎの生産に取組み始めました。

農業のやりがいや難しさはどのようにですか？

植物の成長していく姿を見ることに楽しさを感じていますが、同時に気候の変化で収量が変わるなど、難しさも感じます。直接販売しているお客さまからは喜んでいただける声が聞こえるのがうれしいですね。采野くんとは経営に関する話などもしており、こだわりを持って品質と美味しさを向上させながら、収益を増やし、雇用も増やせるようにしたいと話しています。

歳代の約20名が地区内の除雪作業をしようと特殊免許を取りました。市の除雪車が来るまで、高齢の方は家の外へ出ることも難しい状況です。自分達でできることを自分達でやろうと動いています。まだ独身ですが、今から自分自身や家族が、将来安心して暮らすために、どんな地域にするのか、自分達で考え、行動し、決定していくことが大事だと思っています。



初めから地域に溶け込めたのですか？

ここに住み始めて15年が経ちました。近所の方には、一人暮らしをしていることを気にかけていただきました。地区の川掃除や水路の補修、草刈りなどに積極的に参加したので、地区の人と顔がつながり、かわいがってもらいました。地域の祭りにも参加し、ここの暮らしを楽しんできたと思います。そんな中で、やってもらって当たり前でなく、感謝の気持ちを持つこと「ありがとう」と相手に言うことを大事にしています。

## 農業を魅力ある職業にしたい

農業をめざす若い人にメッセージをお願いします。

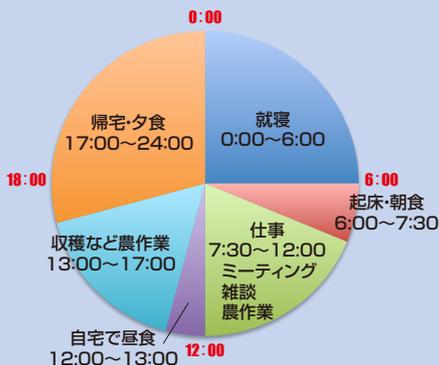
農業は伸びる分野だと感じています。おいしいもの、お客様に喜んでもらえるものを作るやりがいのある仕事です。どうすればいいものを作るか、研究を重ねて、努力することで、収益が伸びます。売り先の開拓、営業や情報発信など、難しさはありますが、魅力ある、食べていける職業にしたいと思っています。

## DATA

### ●プロフィール&高島らしさとは？

1979年京都市生まれ。2014年、うねの農園で農業を始める。高島での暮らしの中で、人のつながりができました。同年代の友人もでき、休日は友人と京都へ遊びに行っています。

### ●1日のタイムスケジュール



## 「ありがとう」と言うことを大事にしたい

地区の活動にも積極的に関わっておられるそうですね。

高齢化が進むこの地区で、数年前から采野くんや自分などの同年代が集まり、青年部を再結成し、消防ポンプの管理や操作の練習をしています。今年は避難訓練を実施し、高齢の方など非常時にサポートが必要な方の把握をしました。また、30~60

## うねの農園

〒520-1652 高島市今津町福岡812

TEL&FAX:0740-22-2176 HP: <http://www.uneno.net/>

## 地元での就職、たくさんの人とつながることにやりがいを感じる

### ふと、地元朽木のことが頭を過ぎった

高校卒業後の進路を教えてください。

岐阜県の大学でスポーツ経営学科に進学しました。高校卒業後、就職しようとも考えていましたが、高校から引き続き大学でも野球がしたいと思い進学を決めました。大学では、プロ野球の球団経営やマーケティング、PR戦略に加え、スポーツ栄養学などを学びました。岐阜での一人暮らしは家事にさえ慣れれば比較的便利の良いところだったので楽しかったですね。

どうして農業協同組合(以下「JA」)への就職を選んだのですか？

就職活動ではスポーツ用品メーカーなどスポーツ関連の企業を視野に入れていましたが、ふと、地元朽木のことや家族のことが頭を過ぎりました。同級生の多くが地元から出ており、みんな外へ行ったら朽木はどうなるのだろうか。父は、すぐに高島に戻ってこなくてもいいと言ってくれましたが、長男としていずれ帰るのであれば、高島で就職しようと考えようになりました。高島市内の就職情報は多くはなかったのですが、大学の就職センターの紹介でJA西びわこに出会い、就職することにしました。当時は、JAというと農業に関係するという以外は具体的なイメージはなかったですね。

### お客様から「JAの上山さん」と呼んでもらえるように

仕事について教えてください。

JA西びわこは、安曇川、高島、朽木の各組合が合併した組合で、この三地域に対応しています。事業は、農業生産に必要な資材販売や営農指導など、農家さんの農業を



支える営農事業、貯金やローンを扱う信用事業、病気や怪我、建物、車の保障などを行う共済事業があります。葬祭事業や買い物困難地を支援する移動販売も行っており、多岐に渡っています。

大学卒業後は、県内16JA合同の新人研修で、JAの事業はもちろん、日本の農業の実情なども学びました。

入組後は、朽木支店で信用外務の業務に就き、集金や定期貯金、積立貯金などの商品販売を2年間経験しました。初めは先輩について朽木を回りました。朽木が出身ということもあり土地勘はありましたが、朽木全部を回るのにこんなに時間がかかるとは思っていませんでした。

仕事で心掛けていることはありますか？

現在、入組して3年目となり、JA共済ライフアドバイザーという共済提案認証を受け、朽木、安曇川で保障設計プランを提案しています。お客様と話して、より良いプランを提案するのですが、時代とともに新しいものが出るプランをどう説明すれば分かりやすいか、日々、試行錯誤です。いざという時に、役立ててもらえるように内容を丁寧に説明し、納得してご加入いただけるように心がけています。ご契約後、組合員・契約者様にご契約内容をお忘れになることもあります。そのためにも、普段から、組合員の皆様とお話し、共済について思い出してもらえるようにしています。最近では、組合員の皆様から「JAさん」ではなく、「JAの上山さん」と呼んでもらえるようになりました。嬉しいですね。今後は、共済のことだけでなく、営農のことも勉強していきたいと考えています。仕事は覚えることがたくさんあり、さらに頑張ろうと思っています。

### 地域のたくさんの人と接する仕事

JAの仕事をめざす若い人へメッセージをお願いします。

JAは地域に密着した仕事です。地域のたくさんの人と接する機会があり、広い範

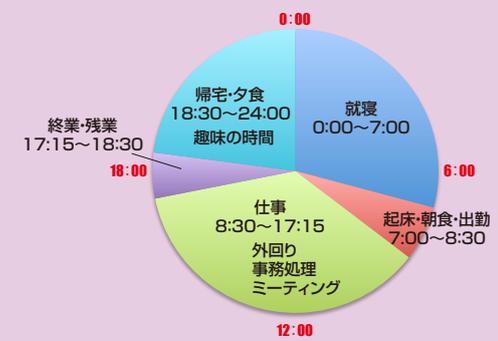


### DATA

#### ●プロフィール&高島らしさとは？

1990年、高島市生まれ。2012年、西びわこ農業協同組合入組。高島市は自然の多い中で、働きながら農業ができるのがいいと感じます。奥地の農地が荒れていることが気になります。

#### ●1日のタイムスケジュール



囲の人とつながることができることに、やりがいを感じます。この仕事をしていなければ、地元でもこんなにたくさんの人と話す機会は無かったと思います。関心のある方には、お気軽に、お近くのJA本支店を覗きにきて、雰囲気を知ってもらいたいですね。

休日は、高校時代の野球部メンバーで作った草野球チームやビーチバレーで体を動かしたり、地域の消防団にも入り、地域とのつながりを感じながら暮らしています。

### 西びわこ農業協同組合 朽木支店

〒520-1401 高島市朽木市場854

TEL: 0740-38-2326 FAX: 0740-38-2328

HP: <http://www.ja-nishibiwako.or.jp/>

## 自然豊かな高島で子育てをしたいとリターン。 高島市の魅力を発信する仕事へ

### 学習塾で見つめなおした 自身の将来像

高校卒業後の進路を教えてください。

高校時代に海外に興味を持ち、京都の大学へ進学し、国際文化学科で英語を専攻しました。卒業後、高島市内で一度就職しましたが、外でチャレンジしたいという思いがあり、半年後に京都の学習塾に就職しました。

高島に戻ってくるようになったきっかけは？

学習塾は子どもの教育に関心があり選んだ仕事でした。子どもたちの指導は楽しく、やりがいを感じましたが、親御さんからの相談などにも対応する中で、さまざまな家庭の事情や都会の子どもたちの環境を知り、自身の将来像を考えるようになり

ました。学習塾は午後から夜の仕事で体力的にも厳しいものがあります。独身で働き続けるか結婚して子育てをするか、都市に住むか田舎に住むか、と選択肢を挙げていく中で、自分が育った自然豊かな高島で結婚し、子どもを育てたいと思いました。

### 6町村をつなぎ、 高島市全体として魅力を発信

高島に戻ることを決められた後のことを聞かせてください。

ハローワークで事務系の求人の中から県事務所の募集を見つけ1年ほど働きました。この時の人の繋がりが高島地域観光振興協議会を紹介してもらい、高島郡民向けのコミュニティ誌「もりっこ通信」発行の専属職員として働きだしたんです。年4回発行のA3両面4ページの紙面ですが、高島郡6町村を巡り、文字通り東奔西走の毎日、高島郡全域のいい所や特産品、歴史、各地域で活動する団体などを取材しました。ボランティアのライターさん、カメラの得意な方など5人でチームを組み、まだあまり知られていない情報を集め、県内にも発信しました。取材を通じて、活動しているのは高齢の方が多いという地域の実状を肌で感じた貴重な経験となりました。

合併後、びわ湖高島観光協会となったとき、仕事内容に変化はありましたか？

高島市の合併後、6町村の観光協会も合併しました。私は引き続き情報発信の担当として、市外へ向けて情報を発信することになりました。「地域情報誌」から「観光情報誌」を作成することは、ターゲットが市民から高島市外の観光客へと変わり、外に向けての視点が変わります。旧6町村を一大観光エリアと捉え、「歴史ゾーン」や「自然ゾーン」など特徴を整理し、「高島市」という一つの大きな括りとして外にPRすることには大変苦労しました。

やりがいや難しさはどういったことがありますか？

市民ですら知らない地域資源を発見・発



掘できるのは楽しいですね。この「地域資源」を「観光資源」にしていくためにはハードルもあります。「観光資源」としてPRしていく際には、ニーズに合わせて分析・分類する必要があります。そして何よりも地元が受け入れられる観光スタイルに合わせることに気を遣います。地域資源の維持管理に地元の力は欠かせません。一方、観光客が来ることで地元が憔悴してしまっただけでは本末転倒です。何を「観光資源」にするかを選択し、その地域に適した方法を考案する。難しくもあり、だからこそやりがいもあります。

### 常に新しく。行動し実現へ！

観光分野での仕事をを目指す若い人にメッセージをお願いします。

外を見て、内をコーディネートする仕事です。一度地域から離れ、外を見てきた人、地域らしさを感じられる人にこそ携わってほしいです。地域への想いが強い人にとって、やりがいのある仕事だと思います。

いい意味で安定せず、常に新しいことをする分野でもあります。時代の流れも見ながら5年後10年後を見据えて取り組まなければなりません。組織としても個人としても将来像を持つことが大切だと思います。「観光のプロ」として地域に必要とされる人を目指してください。

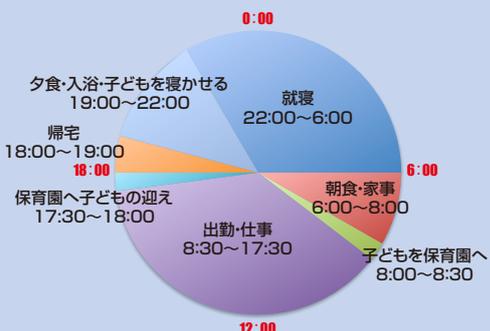


### DATA

#### ●プロフィール&高島らしさとは？

1979年、高島市生まれ。2005年、高島地域観光振興協議会へ。現在、2児の母。高島は自然環境が豊かで、地域のコミュニティもあり、子育ての相談もできます。少々不便があっても、子育てにいい地だと思えます。

#### ●1日のタイムスケジュール



### 公益社団法人びわ湖高島観光協会

〒520-1501 高島市新旭町旭1丁目10-1 高島市観光物産プラザ1階

TEL: 0740-33-7101 FAX: 0740-33-7105 HP: <http://www.takashima-kanko.jp/>

## お一人おひとりに合ったおもてなしと お客様の人生の節目にかかわれる喜び

### お客様一人ひとりに 柔軟に対応できる喜び

#### 高校卒業後の進路を教えてください

子どもの頃から推理小説や法廷ドラマが好きで、法律関係の仕事に憧れ、大学は法学部へ進学しました。サービス業との出会いは、ファミリーレストランでのアルバイトですね。1回生から卒業まで続けました。サークル活動のような楽しい場でした。その中で、「ありがとう」「ごちそうさま」と言っていただけの喜びを感じました。

#### それで、ホテルへ就職されたのですか？

大学卒業後、公務員も考えたのですが、偶然、求人を見つけた今津サンブリッジホテルへ就職しました。ファミリーレストランのサービスはマニュアル以外のことはできません。一方、ホテルでは、風邪のお客様へは特別なメニューのお食事をご提供したり、お誕生日のお客様へサプライズをご用意したり、お客様に柔軟に対応し、お一人おひとりに合ったおもてなしが出来ることに、喜びを感じる仕事です。

### 高島の魅力を発見！ 高島の方にも伝えたい

#### 入社後は、どんな仕事を担当されたのですか？

新入社員は、2、3年、レストランと宴会で料理の配膳などを経験します。「食」を提供するという、ホテルの基本的な仕事をと



おして、接客マナーなどを身につけながら、ホテル業務を理解します。最初はメニューを覚えて、間違わずに配膳するだけで精一杯の日々ですね。その後、宿泊課や営業課、あるいはそのまま料飲課への配属となります。最初の期間が新人にとって最も辛い時期です。お盆や正月など世間が休暇になる時が忙しく、友人との時間は合わないし、夜は午後9時、10時までの勤務。続けられるだろうかと感じました。

#### これまで続けてこれたのはどうしてですか？

転機は、当ホテルが地産地消の取り組み

を始めた2009年頃でした。高島市内の農業者、漁業者、水産加工業者、醸造業者などを訪ね、地域から食材を集め、メニューを作ることになりました。そこで出会った方々のお話に、高島の魅力を発見しました。高島のことを知らなかったことに気づきました。食事のメニューを説明する時も、生産者の方から聞いたお話や食材に関するエピソードをお伝えできるようになり、単にお料理を出す仕事ではないと感じるようになりました。地域を紹介する楽しさとお客様の心のこもった「ごちそうさま」にさらに喜びを感じるようになりました。

#### そこから「湖彩倶楽部」の活動が始まったのですか？

地元の良さや魅力にはなかなか気づかないものです。高島の方に高島の良さを伝えたいと「湖彩倶楽部」を始めました。職員が自主的に琵琶湖や高島に関する勉強を始め、酒蔵や史跡などを訪ね、魅力的な日帰りツアーを組んで、地域の方へ発信しています。参加者は、地元の方より、市外の方や移住して来られた方が多いですが、自分の勉強にもなり、観光に来られたお客様に説明できることも増えてきました。

### ホテルマンの喜びは、人生の 節目にかかわれること

#### お仕事をとおしてのやりがいは？

お客様の中には、スタッフの名前を覚えておられ「あなたに、いつもどおりでお願いしたい」と言ってくださる方もおられます。お客様の信頼にやりがいを感じます。毎年お誕生日にご利用される方、結婚記念日に来られるご家族など、今年はどんなおもてなしでお迎えしようかと考えます。そして、お客様の人生の節目に出会え、一緒にお祝いさせていただけることに喜びを感じます。道のりは長いですが、ホテルマンは一生の仕事だと感じています。

#### ホテルマンをめざす若い人へメッセージをお願いします

テレビドラマなどでは、ホテルマンはカッコいいイメージがありますが、現実には力仕事や裏側の仕事です。中学生が職場体験に来られた時は、力仕事など裏側を体験してもらいます。例えば結婚パーティーで



## DATA

### ●プロフィール&高島らしさとは？

1977年、長浜市生まれ。1996年に今津サンブリッジホテルに入社。料飲部へ配属。1児の母。高島のいいところを高島の人に知ってもらいたいと思っています。

### ●1日のタイムスケジュール



は、本番2時間のために、早朝から準備し、何も無い部屋をパーティー会場に変えています。パーティーでは裏側を感じさせない配慮があり、そして片付けて元の何も無い部屋に戻します。作りこみ、やった分だけお客様の満足と評価につながる仕事です。

仕事に迷った時、中学校卒業時に恩師が贈ってくださった言葉、「生きるための職業は、魂の生活と一致するものを選ぶことを第一とする」に、後押しされて、今の自分があると思います。

## 今津サンブリッジホテル

〒520-1621 高島市今津町今津1689-2  
TEL : 0740-22-6666 FAX : 0740-22-6465  
HP : <http://www.sunbridge-hotel.co.jp>

# スポーツの力を信じ、スポーツで地域を元気に。 プロスポーツを目指す子どもたちを育てる地域をめざしたい

## スポーツを職業にしたい

高校卒業後の進路を教えてください。

小学生からずっとサッカーをしていて、高校生の頃、将来はサッカーに関り、スポーツを職業にしたいと思っていました。大学はスポーツ学部でスポーツマネジメントを学びました。

NPO法人TSCの設立にも関わっておられたのですか？

大学在学中、NPO法人TSC(以下「TSC」)の前身であるTAKASHIMA SPORT CLUBの設立に向け、同期で友人でもある北川 涉君が準備に奔走していました。彼は、彼の地元である高島の子どもたちに、高いスポーツ



技術を学べる機会を提供し、地域からプロアスリートが誕生することで高島を活性化したいと考えていました。専門の先生に協力を依頼したり、子どもたちの指導をしないかと学生に声をかけたりと日々奮闘していました。私にも子どもたちの指導に来ないかと声をかけてくれ、TSCで「たいいくの学校」というプログラムの指導に参加するようになりました。

## 子どもたちの夢を応援

卒業後、そのまま就職されたのですか？

TSCで新規にフットボールアカデミーを開講してほしいとの要請もあり、何よりスポーツに関わり、スポーツで仕事をしたいと思っていたので、卒業後すぐにTSCに就職しました。4月に就職してから7月のフットボールアカデミー新規開講に向けて、小中学生対象に体験会を開催したり、右も左もわからない高島で奮闘していました。

子どもたちは順調に集まりましたか？

最初は、体験会の参加者から1名のみのお入会でした。指導者はどこの馬の骨とも分からない大卒すぐの若者だし、地域のスポーツ少年団が活発に活動していましたし、スポーツを学ぶのにお金をかける文化もまだまだ少なかったと思います。思うように会員が伸びない時期が続きましたが、子どもたちが少しずつ集まり、「ここに来たから、強くなれた」「TSCは楽しい」という嬉しい声をいただき、約10年が経過した現在、フットボールアカデミーの会員は70名程になっています。

どんな子どもたちが来ていますか？

フットボールアカデミーは、園児から中学生までの子どもたちが活動しており、TSCだけで活動している子ども達がいったり、スポーツ少年団や部活動に入っている子ども達が普段の練習の+αとして参加しています。週に1回~4回、各自の目指すレベルに応じて練習しています。TSCでの

学びが各自のチームでの活躍につながったり、地区選抜に選ばれる子がいると、指導者としてやりがいを感じます。より高いレベルを目指している子もいるので、さらに指導力を上げ、一人ひとりに合った指導の充実を図っていきたいと思います。

## プロスポーツ選手を目指す子どもが集まる地域に

今後の展望を教えてください。

地域の子どものニーズに合わせて、様々なプログラムを提供し、スポーツ環境を良くしていくことはもちろんですが、少子高齢化で子どもの人口は減少しています。そこで、将来的には高島市に市外・県外からプロスポーツ選手を目指す子どもたちが集まって来るような環境を創りたいと思っています。高島市はスポーツ施設が充実しており、これらの施設をフルに活用し、プロスポーツ選手を育成出来る環境を整えたいと考えています。学校と連携して施設の利用者が少ない平日の日中にトレーニングを行えるような中高一貫アカデミーを作ったり、世界基準で指導できる指導者の招致であったり、高島の地から世界で戦うことが出来るスポーツ選手を地域の人々とともに育成していきたいですね。



## DATA

### ●プロフィール&高島らしさとは？

1984年、京都市生まれ。2006年、TSC入社。一児の父。周囲には自然が多く、琵琶湖にバス釣りに行くのが楽しみです。自宅と仕事場が近いことも高島の魅力だと思います。

### ●1日のタイムスケジュール



## スポーツ分野での仕事をを目指す若い人にメッセージをお願いします。

自分のやりたいことを仕事にしてほしいと思います。私自身は今の職場でやりがいを感じて仕事をすることで人生を思いっきり楽しめていると思います。NPO法人はミッション(使命)を達成することが目的です。自分のやりたいことと団体のミッションがマッチしていれば、あなたにとっても団体にとっても双方のプラスになると思います。スポーツの力を信じ、スポーツで地域を元気にしていきたいと思っています。

## 認定NPO法人TSC

〒520-1631 高島市今津町名小路1丁目6-5

TEL : 0740-22-9090 FAX : 0740-33-7100

HP : <http://www.tsc-presents.jp>

## 身近だった森林や自然の中での仕事、 もっと木について学びたい

### 森林や自然の中での仕事が 身近だった

#### 森林組合への就職を決められた理由は？

実家にも祖父が所有する山があり、自分が産まれた時には杉を植えたそうです。子どもの頃は森林で遊んでいましたし、自然の中での仕事は、身近な存在でした。高校時代、森林にさほど興味があつた訳ではなかったのですが、森林組合の求人を見て、自然に就職を考えていました。

### 勉強と経験を積む仕事

#### どんな仕事をされていますか？

森林組合は、組合員さんの所有する山の管理と間伐した木材の販売が主な事業です。山の作業は、植林された杉や檜などの枝を切る枝打ち、林の下に生えた草を刈る下刈り、雪の重みで寝てしまった木を起す木起し、そして間伐の作業があり、現在、これらの作業は組合請負作業班に作業してもらっています。間伐した木材の販売は、年に2、3回、木材市場を開催しています。また注文に合った木を選定し製材所や工務店などに販売しています。入組してずっと配属は業務課で、主に販売を担当していますが、最初は先輩と一緒に山の所有者に会い、測量を学び、現場の作業確認をしたり、市場で木材の勉強をしたり、とにかく先輩について現場で学びました。山は手を加えるときいいになり、新しいことを学ぶ日々、おもしろさを感じていました。

#### 担当されている木材の販売について教えてください。

扱う木の8割は杉、2割は檜で、植林後40～60年の木がほとんどです。その他に雑木と呼ばれる樺や栗もあり、これはテーブルや社寺建築などに使われます。

木材はABCのランクに分けます。A材は工務店などに販売し、建築材などに使われます。最も値段が高くなります。B材はベニヤ板などの材料として加工会社へ販売されます。C材はチップ加工業者へ販売されバイオマス発電などに使われます。

販売で難しいのは、木材は同じものが一つとしてなく、木の選別には勉強と経験を積むしかないということです。例えば、節



の多い木は価値が低い事はよく知られています。良い木材は、切り口の色は赤みが多く、木が真っ直ぐなこと、年輪の中心である芯が真ん中にあること、年輪が細かいなど、他にも多くの見るべき点があります。入組して11年になりますが、今も木材の選別は難しく、すでに退職されたのですが19年間木材の選定に携わってこられた先輩に連絡して相談することもあります。

### 注文に合った木を選び、 木に合った売り先につなぐ

#### どのようなときにやりがいを感じますか？

木が少しでも高く売れたときは、やりがいを感じます。利益を山の所有者へ返すことが最大の目的です。それには、工務店などから受けた注文に合った木を選び、出荷することが重要です。また木材市場を開催し、木に合った売り先につなげることも大切です。安い輸入材が多く使われ、国産の木材の利用が減っており、地域産の木の利用を拡げる活動もしています。他所の木材市場を見学したり、研修に参加し、もっと木について学びたいと思います。後輩にも教える立場になり、教える難しさを感じながら、仕事の楽しさを伝えられればと思っています。

#### 林業では、特殊な免許が必要というイメージがあるのですが。

免許の数は自慢です。大型自動車、大型特殊から重機、クレーンなど12、3種類ほどの免許を持っています。入組してから取得しました。安全に作業するために必要なもので、組合では免許を取得するための支援があります。林業で働くことをめざしているなら、先行して取得しておくのもいいと思います。

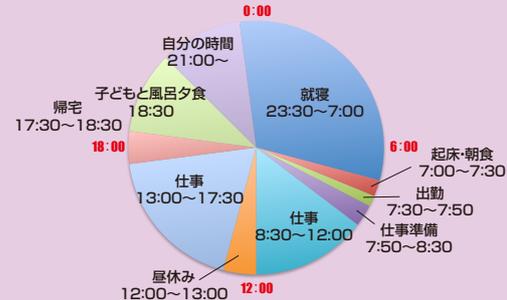


## DATA

### ●プロフィール&高島らしさとは？

1986年、高島市生まれ。2004年、高島郡森林組合(現、高島市森林組合)に就職。1児の父。休日は、家族サービスで、子どもの好きな工事車両などを見に行きます。

### ●1日のタイムスケジュール



### 自主性が求められる仕事です

林業をめざす若い人にメッセージをお願いします。

仕事のおもしろさが分かるまで、最低3年はかかります。ひたすら学ぶ、我慢の期間です。決してすぐにできる仕事ではありません。どの仕事についても言えることですが、本当の楽しさを味わう前に辞めてしまってはもったいない。任されるまで喰らいつく忍耐力は重要です。自分で判断して動けるようになって、初めて仕事のおもしろさが分かるようになります。自主性が求められる仕事です。

## 高島市森林組合

〒520-1412 高島市朽木野尻364-2

TEL : 0740-38-2214 FAX : 0740-38-3277

HP : <http://www.takashima-shinrin.jp/>

## 魅力と深みのある和菓子の世界で、 和菓子店を継ぐ

### 子どもの頃から和菓子店を 継ぐと考えていた

和菓子のお店はいつ頃から継ぐと  
考えていましたか？

思い返すと、物心つかない頃から、祖父に「跡を継ぐのだ」と刷り込まれていた気がします。自分でも高校を卒業したら和菓子の修行へと思っていた。しかし、母の勧めもあり、大学へ進学しました。将来に役立つと思い、商学部で経営を学びましたが、大企業に関するものが多く、中小企業についてはあまり学べませんでした。

大学で印象に残っていることはありますか？

アルバイトで学んだことが多かったですね。全国チェーンのピザ店で、時間帯責



任者として、周囲を見て仕事をする事、スタッフを見て適切な声かけをすることなど、チームマネジメントを学びました。また、ピザの配達コンテストもあり、日本代表に選ばれて海外にも行きました。一生懸命やれば結果につながると肌で感じた経験でした。英語の勉強が好きで、卒業前にオーストラリアへ短期留学をしたのは楽しい思い出です。卒業直前は、店を継ぐプレッシャー、和菓子修行に対する不安が高まってきていました。

### 毎月、品評会へ新しい作品を 出すために

和菓子の修行について教えてください。

大学卒業後、東京の創業百年余りの一畑庵で5年間修行しました。この店は、原材料を仕入れ、一切機械を使わず、その日に店で販売する分を毎日、全て手作業で作っています。全てを手で作る和菓子作りを学びながら、若手技術者が挑戦する東和会の品評会へ毎月出品しました。優秀作品は東和誌という冊子にカラーで掲載されます。カラー掲載を目指して、出品し続け、修行4年目から作品がカラーで掲載されるようになりました。

毎月新しい作品を出すのはたいへんだったのでは？

新しい和菓子を作るために、四六時中、菓子のことを考えていました。考え続けていると、素材の組み合わせや表現など、イノベーション的なアイデアが突然出てくることもあり、自分で驚くこともありました。試作に使う材料は、店にとって負担なのですが、師匠も若い頃に挑戦していた品評会で、私の成長のために応援してくれました。修行では悔しくて泣く時もありましたが、師匠がよく言っていた「いい物

を作るには、いい物を知ること」という言葉を励みに続けました。

### 和菓子の技術を磨くこと、経営者の 感覚と知識を身につけること

戻って来られてからの仕事はいかがですか？

28歳で戻り、今、半年が経ったところです。とも栄のやり方を一から学んでおり、分からないことがたくさんあります。自分は鈍くさいので、時間はかかりますが努力しています。また、店の経営についても課題を感じています。人口減少の中、年配の方には和菓子をお買い上げいただいているのですが、若い方に和菓子を伝え、お客様になっていただかないと続かないと感じています。日本人には、和菓子とお茶でホッと心が和む感性があり、和菓子は誰にとっても馴染むものになるはずだと思っています。

今後、目指しておられることを教えてください。

和菓子の大規模店の経営に関心を持っています。大阪の青木松風庵を見学し、衝撃を受けました。機械を使って大量に作っておられるのに美味しく、和菓子もビジネスとして成り立つ事を目の当たりにしました。今後、さらに和菓子の技術を磨くこと、そして経営者としての感覚と知識を身につけることを目指していきたいと思っています。

### 「今日の自分が一番若い」と 挑戦を続ける

和菓子の職人をめざす若い人へメッセージをお願いします。

和菓子の世界は深く、一生では足りない気がしています。正直、お勧めできないとも思いますが、品評会などで出会った若手技術者の方々は、後継者でない方も多く、和菓子職人をめざして日々技術を磨いています。魅力と深みのある世界です。父は、「目の前にあることを一生懸命できる人は、何をやっても大丈夫だ」と言います。仕事だけでなく、目の前にあること、やるべきことを頑張ることで学びがあります。自分も、今からなら何でも出来る、「今日の自分が一番若い」と挑戦をし続けて行きたいです。

## DATA

### ●プロフィール&高島らしさとは？

1987年、高島市生まれ。2010年、一畑庵に修行に入る。2015年、とも栄菓舗に入社。生まれ育った高島は、人のつながりをどこでも感じる地域だと思います。地域の中で、材料も人つながり、回っていると感じます。

### ●1日のタイムスケジュール



## 有限会社 とも栄菓舗

〒520-1217 高島市安曇川町西万木211-1

TEL : 0740-32-0842 FAX : 0740-32-0873

HP : <http://www.sweet-tomoe.com/>

## 信頼とより高度な経営支援をめざして

### 信頼関係が大切な仕事

#### 高校卒業後の進路を教えてください。

大学は経済学部へ進学しました。卒業後、建設業を営む個人事業者や建設業従事者のための組合に就職しましたが、2009年に滋賀県商工会連合会へ転職しました。商工会は、小規模で経営されている地域の事業者さんを応援し、地域経済の発展を支える組織です。記帳代行や経営に関する相談に対応したり、補助金などの支援制度をご紹介したり、異業種交流の支援などをしています。

#### 就職後、どんな仕事をされましたか？

最初の1年半は、湖南市商工会に配属となり、会員である事業者さんを訪問し、記帳の相談や共済保険の説明などをしました。多くの人と接する仕事におもしろさを感じました。次に、大津北商工会へ異動し、記帳業務の他に、指定管理を受けた大津市の施設の管理運営を担当しました。運営では、施設長、嘱託職員、アルバイトなど様々な立場のスタッフの調整に気を使いました。また遊具などの管理では、故障や利用者のケガなどもあり、大津市と折衝することも多く、2年間、とにかく神経を使うことが多かったですね。

#### 現在されている仕事を教えてください。

記帳代行は20社ほどを担当し、会員さんの巡回と経営指導をしています。記帳は、できるだけご自身で記帳できる「ネットde記帳」をご利用いただけるようにサ



ポートしています。会員さん自身が経営状態を把握できますし、商工会でもデータを共有し、ご相談などに対応しやすくなります。巡回では、「どうですか？」と会話する中から、会員さんの困りごとをお聞きし、ご利用いただける補助金制度や融資の仲

介などを通して、経営改善への支援をしています。例えば、補助金制度では、小規模事業者持続化補助金制度を使った販路開拓支援。融資では日本政策金融公庫の融資制度や滋賀県中小企業振興資金融資制度等の活用による金融支援をしています。経営支援は、経営状態を把握しないとできません。会員さんにとっては、経営状態を赤裸々に説明することになるので、お互いの信頼関係が無いと相談していただけません。

### 会員さんそれぞれに合った支援のために

#### どのようなときにやりがいを感じますか？

厳しい経営状態の会員さんの相談対応で、会員さんに合った金融支援を行ったことがありました。踏み込んだ経営支援により、経営状態が改善された時は、よかったですと感じました。必要とされている方に適切な情報をつなぎ、持続的な経営のために寄り添いながらサポートをする仕事です。結果につながる場合ばかりではありませんが、会員さんそれぞれの経営状態に合ったサポートができるようになりたいと思っています。

#### 今後、目指しておられることはありますか？

商工会に就職後、ファイナンシャルプランナー2級を取得しました。人生の段階毎にどんなお金が必要で、どのように準備していくのかについて相談に対応できます。商業に関する資格は、社会保険労務士、販売士、税理士など多種ありますが、より高度な経営相談に対応できるように、中小企業診断士の資格をめざして勉強しています。

### 柔軟力と地域愛を持ってほしい

この仕事をめざす若い人へメッセージをお願いします。

どんな仕事でも、挫折もあり、失敗もあります。柔軟力が大切です。柔軟な発想



### DATA

#### ●プロフィール&高島らしさとは？

1977年高島市生まれ。2013年に高島市商工会へ。現在6歳と1歳の父。高島市の個性は「SLOW」だと思います。精神的にゆったりした中で生まれる創造力やコミュニケーション力がクリエイティブな起業に合っていると感じます。

#### ●1日のタイムスケジュール



で、「何とかなる」と思うこと。折れない、やわらかさを持ってほしいですね。商工会は、地域密着型で高度な経営支援ができる仕事です。この仕事をめざす人には地域を愛してほしいと感じます。今後、商工会の職員はそれぞれに専門性を持ち、専門性を活かしたチームで対応していくようになっていきます。同時に、地域の中小業者の方に商工会のできることを知ってもらい、活用してもらいたい。そのために商工会の専門性を伝えていかないとけないと感じています。

高島市商工会 北部センター

〒520-1621 高島市今津町今津175

TEL : 0740-22-2810 FAX : 0740-22-3898

HP : <http://www.takashima-syo.jp>

## 就職には苦労しましたが、 福祉制度に関心を持ち、高島市役所へ

### 企業で働く自分が イメージできない

高校卒業後の進路を教えてください。

京都の大学で西洋史学を学びました。小さい頃から祖父母と暮らし、高齢になり徐々に体が不自由になる姿を見て、福祉に興味も感じていました。進学では、福祉関係で学ぶ方が就職は有利だと言われ、最後まで悩みましたが、一番興味を持っていた歴史を学ぶことを選びました。高校生の頃は、自分が何に向いているのか、よく分からなかったですね。

大学で学んだことで印象に残っていることはありますか？

歴史を学び、調べ、研究する中で、実は



## DATA

### ●プロフィール&高島らしさとは？

1989年、高島市生まれ。2012年、高島市民病院で医療事務を経験。2015年、高島市役所へ入庁。高島は地元であり、お互い様が生きている地域だと感じます。周りの人が助けてくれる近所づきあいがあり、おはよう、いってらっしゃいとご近所との挨拶にホッとできます。

### ●1日のタイムスケジュール



よく知っている歴史が虚構であることに気づき、固定概念が崩れることもありました。歴史を学ぶことで、ものの見方が柔軟になったと思います。しかし、就職では苦労しました。学んだことを、実社会の何に活かせるのか、なかなか整理できず、言葉



にできなかったこともありました。また、販売などで利益を上げることに関心が低く、採用試験や面接を受けながら、企業で働く自分がイメージできなかったということもありました。採用試験はエントリーシートだけで不採用になったものも含めると50社くらい受けましたね。

### 医療事務の経験から 福祉制度に関心が向いて

高島市役所に就職が決まったのですか？

卒業前に、高島市民病院の医療事務の派遣が決まり、3年間、外来会計と入院会計の窓口で仕事をしました。会計窓口では、長期入院の方や妊婦さんなどさまざまな方と会う機会をいただきました。患者様から福祉医療制度についての相談に対応する機会もあり、自治体の制度や福祉制度にも関心が向きました。そして、関心が向いた高島市の福祉制度について自分なりに調べ、高島市役所の採用試験を受験し、今年度からの採用が決まりました。

### 「ありがとう」に やりがいを感じて

担当されている仕事について教えてください。

保険年金課で仕事を始め、一年が経とうとしています。保険年金課は、年金資格取

得に関する事、後期高齢者の医療給付に関する事、福祉医療費に関する事など、窓口で申請書の書き方や制度について説明することが多い課です。窓口に来られる方は高齢の方や若い方などさまざまですが、分かりやすく説明できて、「よくわかったよ。ありがとう」と言ってもらえるとうれしく、やりがいを感じます。

今後の展望を聞かせてください。

窓口対応をしながら、国民年金窓口事務に関するマニュアルづくりを計画しています。年金事務は各支所でも受け付けていますので、分かりやすいマニュアルを今年度中に完成させて各支所へ配布する予定です。たいへんな作業なのですが、一年目に窓口事務を勉強し、整理できるいい仕事だと感じています。まだ一年目なので、目の前の仕事をこなすのに精一杯の毎日ですが、もう少し全体を見て仕事できるようになりたいですね。今後も福祉関係で仕事を続けたいと思います。制度などについて知識と経験を持って、また市民病院で仕事できるのもいいですね。市民生活に近い市民課で戸籍に関する仕事も良い経験になると先輩から聞いていますので、そちらにも興味を持っています。結婚してもずっと続けたい仕事だと思っています。

### なにもやらずに 後悔するより、やってみる

行政の仕事をめざす、若い人へのメッセージをお願いします。

市役所の仕事は、日常生活の中で何かしら関わりがあるものばかりです。ゴミの回収、バスの運行、医療や介護、教育など、関心がある分野について、自分は何をしてみたいかと考えてみてください。生活を見回すと何かしら興味や関心が出てくると思います。

振り返ってみると、「なにもやらずに後悔するよりも、なんでもやってみて後悔する方がまだ」と考えてきました。何事も経験です。たとえ失敗しても経験はプラスになると思います。

## 高島市役所 保険年金課

〒520-1592 高島市新旭町北畑565

TEL : 0740-25-8137 FAX : 0740-25-8102 HP : <http://www.city.takashima.lg.jp>

## 自分が育った保育園で、保育教諭として、母として、子どもの成長を支える

### 自分の育ちをふりかえる

#### 高校卒業後の進路を教えてください

京都の短大で幼児教育学科を専攻しました。4歳からピアノを習っていて、これを活かしたいと考えていました。卒業後、保育士にならない人も多いのですが、私は実習の中で、楽しく過ごす子どもたちの姿を見て、保育園で働きたいと思うようになりました。実は私、このはこぶね保育園の卒園生で、実習もここにきました。自身の育った所をふりかえることができたのも、保育園で働くことを決心するきっかけになったと思います。

### 保育教諭として、母として、成長

#### 最初は戸惑うことも多かったのでは？

そうですね、1年目は生後10カ月ほどの赤ちゃんクラスの担当でした。赤ちゃんのおんぶもおむつ替えも、毎日が初めてのことだらけで発見と驚きと失敗の連続でした。「分からないことは聞いてね」という先輩の言葉に救われていましたね。見て聞いて学ぶ毎日でした。



対外的な興味が湧いてくる2歳児クラスでは、常にポケットに、指人形とか小さなおもちゃを忍ばせていました。「どんな先生なんだろう？」と、子どもたちは関心を向けています。子どもの興味を裏切らない、いつも何か驚きや楽しみをバツと出せる工夫ですね。

#### やりがいを感じる時はどんな時ですか？

お母さんと離れたくなくて泣いていた子が、ある日、お母さんに笑顔でバイバイできるようになる、子ども自身が日々努力

して、できないをできるに変える貴重な成長の場面にやりがいを感じます。年長の担任のときは、みんなで作った劇の発表会に、風邪で参加できなくなった子が、「今日のは行けないけど、みんながんばって」とご家族に手紙を託してくれました。みんなを思う気持ちに成長を感じましたね。

#### 現在は2児の母ということですが、お子さんができて変わったことはありますか？

やることが多い、だけど思い通りにいかない、1日では足りない！と感じるのは、育児の宿命ですね。柔軟な考え方をし、要領よく動けるようになったと思います。仕事でも、子どもたちの行動が思うとおりでなくても、待つことができるようになり、お母さん方にかけて言葉も変わったと思います。ご家族の立場と子どもの立場、双方向から物事を考え、子どもの心に寄り添い、豊かな人生を歩めるよう家庭と連携を取りながら支えられる、そんな保育教諭になりたいと思っています。

#### 仕事をする上での課題は何でしょう？

同世代の保育教諭が少ないことですね。30、40代は結婚や出産を機に辞めてしまうことが多いのですが、託児されるご家族と同年代の保育士がいると安心感もあり、いろいろな相談もしてもらえます。私は、幸い実家の側で暮らしていることと、育児に関して理解のある職場で、自分の家庭や体調なども考慮して無理なく働くことができています。結婚する時に園長先生にいただいた「思いっきり幸せになること、生まれたとき、天があなたに命令した事といえば、そのくらいのもですよ」というメッセージは支えになっていますね。

### 子育てはチームで

#### 保育教諭をめざす若い方へメッセージをお願いします。

子どもの成長を近くで見ることができる、そして支えることができる貴重な経験

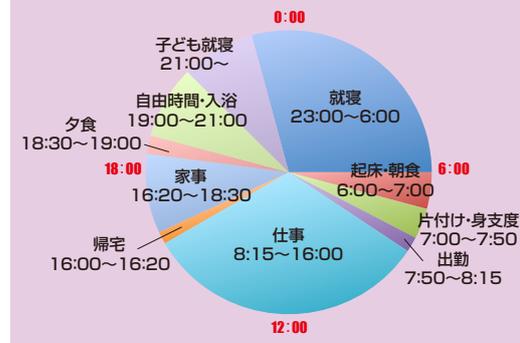


### DATA

#### ●プロフィール&高島らしさとは？

1975年、高島市生まれ。1995年に安曇川はこぶね保育園に就職。現在2児の母。高島市は時間がゆっくり流れ、一人でがんばらなくても、周りの人や近所の人々が助けてくれる地域性に「豊かさ」を感じます。

#### ●1日のタイムスケジュール



ができる職業です。忘れてはいけないことは、子育ては家庭、保育園、地域などチームで、子どもを愛するという目標を達成するものだという事です。お母さんや家族の愛情を土台とし、その上に人間性や社会性を育てていくのが保育教諭です。

高島の暮らしは保育環境と似ていますね。ゆったりとした時間の中で、人の繋がりと優しさがある安心感。地域のチームワークで子どもだけではなく、大人も高齢者も豊かな暮らしができていると感じます。

### 安曇川はこぶね保育園

〒520-1221 高島市安曇川町青柳700-1

TEL : 0740-33-7900 FAX : 0740-33-7901

HP : <http://hakobune.hoikuen.to>



## 住まいを見つける・つくる

### ■定住相談の窓口があります

高島市役所では、移住・定住を希望される方の想いを聞きながら、仕事や住まいの相談にお応えする、定住相談を行っています。お気軽に相お問合せください。

**定住相談窓口**（滋賀県高島市新旭町北畑565 高島市役所 市民生活部 市民協働課）

☎ **0740-25-8526**

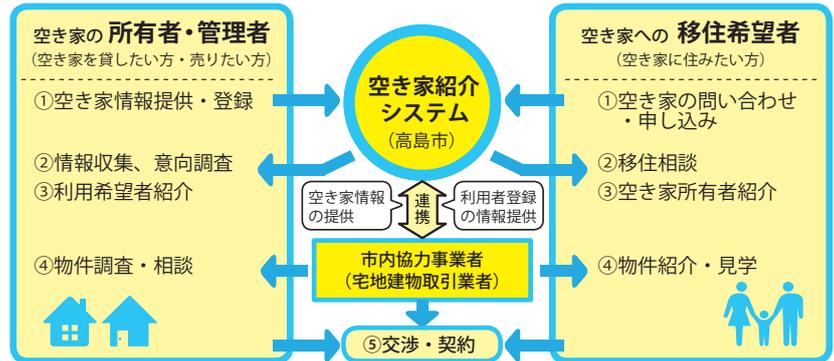
✉ [takahima\\_teiju@voice.ocn.ne.jp](mailto:takahima_teiju@voice.ocn.ne.jp)

### ■高島市内の空き家をご紹介します

空き家の利用を希望される方には、地域になじみ、定住していただくことを第一に考え、空き家紹介システム(下記)により、空き家の紹介を行っています(定住相談に来られた方が対象)。集落の方々をつながりを持ち、移住される方にも集落の方にも、より良い定住を実現しましょう！

※高島市内にある空き家を有効利用するため、市内の協力事業者(宅地建物取引業者)と連携して空き家の紹介を行っています。

#### 空き家紹介システムのしくみ（利用方法）



### ■住まいの新築・リフォームの補助制度があります

#### ●定住住宅取得補助

[担当] 市民協働課 TEL:0740-25-8526

**【対象となる人】** 市内に定住しようとする40歳未満の方または小学校6年生までの子を扶養し、同居する方  
**【対象となる住宅】** 市内業者が建築・販売する新築住宅(床面積50㎡以上280㎡以下)  
**【補助金の額など】** 固定資産税相当額を補助、限度額5万円/年、地域通貨「アイカ」で5年間お支払い

#### ●定住住宅リフォーム補助

[担当] 市民協働課 TEL:0740-25-8526

**【対象となる人】** ①高島市へ移住・Uターンしようとする方で、転入後3年を経過しない方  
 ②市内の賃貸住宅などにお住まいで実家に定住しようとする方または婚姻により実家に定住しようとする方で、40歳未満の方または小学校6年生までの子を扶養し、同居する方  
**【対象となる住宅】** ①定住するために購入した中古住宅、所有する住宅 ②相続・贈与によって取得する実家  
**【対象となる事業】** 市内業者が請け負う50万円以上のリフォーム工事  
**【補助金の額など】** 補助率は最高1/4、総額は最高50万円、地域通貨「アイカ」で5年間分割均等払い  
 ※年齢によって補助率が変わります。詳細は市民協働課までお問い合わせください。

#### ●地域材活用応援事業補助金

[担当] 森林水産課 TEL:0740-25-8512

**【対象となる人】** 高島市内で建築される場合：施主、高島市外で建築される場合：建築事業者  
**【対象となる事業】** 市内業者が行う、住宅等の新築および増改築工事(地域材を3㎡以上使用すること)  
**【補助金の額など】** 一般住宅で製材品1㎡あたり15,000円、限度額30㎡まで45万円  
 ※建物の用途などにより、補助単価が変わります。詳細は森林水産課までお問い合わせください。  
 ※いずれも市内の建築業者が行う工事

#### ●太陽熱温水器設置事業補助金

[担当] 環境政策課 TEL:0740-25-8123

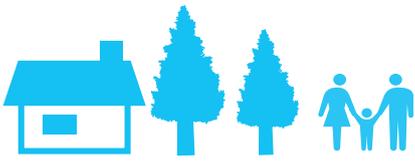
**【補助要件】** 高島市内に住所を有する方が、太陽熱温水器を購入する場合、費用の一部を助成します。  
**【対象となる事業】** 太陽熱温水器購入費用で、同一世帯につき1回限り(本体費用のみで工事費用は含みません)  
**【補助金の額など】** 補助率は温水器本体の1/10以内、限度額5万円  
 ※太陽熱温水器を購入される前に、補助金申請の手続きをしてください。

#### ●住宅用太陽光発電システム補助金

[担当] 環境政策課 TEL:0740-25-8123

**【補助要件】** 高島市内に住所を有する方が、住宅に太陽光発電システムを設置する場合、費用の一部を助成します。  
**【補助金の額など】** 1キロワットあたり3万円(限度額10万円)  
 ※補助対象など細かい要件があります。申請をお考えの方は環境政策課にご相談ください。

それぞれ細かい要件があります。申請をお考えの方は必ず着工される前に担当課にご相談ください。



高島市への移住をお考えの方に、「住まい」と「仕事」に関する  
相談窓口や支援・補助制度をご紹介します。

## 🔧 仕事を見つける・つくる

### ■ 仕事を探したい

ハローワーク高島(大津公共職業安定所高島出張所) 〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広4-37

☎ **0740-32-0047**

FAX **0740-32-3419**

利用時間：月～金曜日 8:30～17:15

アクセス：安曇川駅より徒歩約3分、駐車場あり

休 日：土・日、祝日、年末年始(12/29～1/3)

福祉の職場を探す 社会福祉法人 高島市社会福祉協議会 〒520-1121 滋賀県高島市勝野215番地

☎ **0740-36-8220**

FAX **0740-36-8221**

✉ [inquiry@takashima-shakyo.or.jp](mailto:inquiry@takashima-shakyo.or.jp)

HP <http://takashima-shakyo.or.jp>

高島市の就職フェア 高島市では市内企業の合同企業説明会として、毎年、「就職フェア」「福祉の職場説明会」を開催しています。開催時期や出展企業などの詳細は各課にお問い合わせください。

「就職フェア」

商工振興課

☎ **0740-25-8514**

「福祉の職場説明会」

社会福祉課

☎ **0740-25-8120**

### ■ 農業を始めたい

#### ▶ 農業大学校などで研修を受けたい

##### 青年就農給付金【準備型(研修期間中)】

都道府県が認める道府県農業大学校や先進農家・先進農業法人等で研修を受ける就農者に最長2年間、年間150万円を給付します。(農林水産省)

#### ▶ 農業経営を始めたい

##### 青年就農給付金【経営開始型(独立・自営就農後)】

新規就農される方に、農業を始めてから経営が安定するまで最長5年間、年間最大150万円を給付します。(農林水産省)

#### ▶ 高島市内の農家で研修したい

##### 高島市新規就農者研修制度

新たに農業にチャレンジする青年が、市内の大規模農家や農業法人で研修を受けながら農業技術を習得し、自立するための支援を行います。地域とコミュニケーションをとりながら高島市の農業を支える一員として自立を目指す方を対象とします。研修生に研修期間中(1年以上2年まで)、月額10万円を支給します。(助成金の対象経費は、研修資材費のほか住宅費などの生活費も可能です)

##### 【補助要件】

①研修生は、研修開始時に15歳～44歳までの方が対象です。

②研修先は、市に登録された研修実施農家などになります。

③1年ごとに計画を立てて研修を行います。毎月、研修先に報告書を提出し、課題解決します。

④助成期間は1年以上2年までです。

⑤研修終了後、3年以上高島市内で居住し、就農していただきます。

その他にも、農業法人等が、新規就農者を雇用するときや経営者を育成される場合には、助成制度があります。

詳細は、農業政策課 TEL : 0740-25-8511へお問い合わせください。

それぞれ要件の確認等があります。申請をお考えの方は必ず、高島市役所 農業政策課にご相談ください。



## 発行

高島市役所 政策部 企画調整課

〒 520-1592 滋賀県高島市新旭町北畑 565 番地

tel:0740-25-8114 fax:0740-25-8101

mail:kikaku@city.takashima.lg.jp

## 企画制作

たかしま市民協働交流センター

〒 520-1622 滋賀県高島市今津町中沼 1-4-1

tel:0740-20-5758 fax:0740-20-5757

mail:webmaster@tkkc.takashima-shiga.jp